

1	審議会名	文化財保護審議会
2	日時	平成24年8月31日 午後13時30分から午後17時00分まで
3	会場	教育委員会第2庁舎大会議室
4	出席者	桜井委員長、吉澤会長代理、伊藤委員、町田委員、水沢委員
5	市側出席者	小山教育長、武井教育次長、土屋文化振興課長、藤沢真田地域教育事務所長、青木武石教育事務所係長、久保田文化財保護係長、中沢統括主査、和根崎主査、松崎主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	24年 9月 3日

協議事項等

- 1 開 会（教育長）
- 2 あいさつ（桜井委員長）
- 3 協議事項
 - (1) 議題の概要（文化振興課長、中沢統括主査）

上田市指定文化財諮問物件「蔵前の大枡」の答申について
上田市指定文化財の諮問について

 - ・ 法楽寺遺跡出土銅三尊仏及び銅印
 - ・ 上田原遺跡出土鉄鉾
 - ・ 浦田遺跡出土鉄に鑿
その他（報告事項2件）
 - (2) 審議概要
 - 1 議題 について
(各委員の意見)
 - ・ 上田藩は、真田時代から松平時代まで貫高制を維持してきた珍しい地域である。「蔵前の大枡」は、上田藩で年貢納め用に使われた枡で、貫高制と表裏一体のものとして貴重である。
 - ・ 申請があった枡のほかにも、もう一つ現存しているものが確認されている。そちらの方は物がいいが、申請があった枡には古文書がついていている。そちらのものにはない。
 - ・ そのもう一つについても、申請があれば指定できるよう説明がつく形にしておくといい。その場合、追加指定にするのか、個別指定がいいのか。長野県の指定では、このようなケースでは個別指定にしている。
(事務局)
 - ・ 福田の同一物件の指定の可能性についても検討する。
(審議結果)
 - ・ 「蔵前の大枡」は、上田貫高制を示す唯一残る文化財として、指定することが適当である。
 - 2 議題 について
(各委員の意見)
 - ・ 次回の委員会までに、調査しておく。
 - ・ 三尊仏は美術工芸専門の伊藤委員、印、鉾、鑿は考古学専門の水沢委員が中心になって調査する。
 - ・ 見たところ、保存処理後の保管方法に若干の問題が見受けられる。それも含めて調査しておきたい。
 - 3 議題 について
(各委員の意見)
 - ・ 長谷寺については指定範囲外なので問題ない。希望としては、歴史的背景も配慮して欲しい